



華やかな絵柄の「伊万里香水」。揮発性が高い香水を詰める瓶を伊万里焼で作るため、試行錯誤を経て誕生。装飾美と機能性を両立している。

[佐賀県・伊万里市]

## 国内初!絵柄華やか伊万里香水等のブランド化

有限会社 畑萬陶苑

海外シェアを開拓する  
華やかな美と機能性を  
両立させた香水瓶。

鍋島藩窯として隆盛を極めた伊万里焼だが、近年は安価な輸入競合品などに押され、厳しい状況にある。伊万里焼復興のため、伝統工芸士が挑んだのが、揮発性の高い香水を詰める瓶の開発。焼成によって収縮する陶磁器の性質から、不可能にも思えた取り組みであったが、華やかな絵柄を施した、装飾美と機能性を備える香水瓶が誕生した。



○活用する地域資源：伊万里・有田焼

### 「伊万里焼に香水を」 調香師との縁から、 至難の挑戦が始まる。

400余年の伝統を有し、経済産業大臣による伝統工芸品に指定される「伊万里・有田焼」。特に伊万里焼は、鍋島の藩窯として培った優美な絵柄が、海外でも高い評価を得ている。ところが近年、国内ではライフスタイルの変化や安価な輸入品との競合により、厳しい状況が続く。畑萬陶苑の代表である畑石眞嗣氏は、伊万里・有田焼伝統工芸士。創業80周年の節目に伊万里焼復興を誓い、販路拡大を模索していた。そして出会ったのが、調香師の中島基貴氏で

ある。「伝統の伊万里焼に香水を詰めたい」という中島氏。しかし、陶磁器は、ガラスと違って中身を目視できる透明性がない。しかも乾燥や焼成の度に収縮が生じるため、揮発性の高い香水を詰めるための密閉性を獲得するのは、至難の技である。

### 伝統の絵柄のほか、 現代的な柄も考案して 新しい販路を拓く。

優美な絵柄を施した伊万里焼の香水瓶であれば、カットやフォルムが美しいガラス製に劣らず、装飾品としての有用性も高い。伊万里焼の伝統美に機能性を備えた香水瓶の

開発に向け、挑戦が始まった。試作の数は、数えきれないほど。金属パーツとの接合部をヤスリで削るなど、0.1ミリの攻防が続いた。絵柄は、伝統の鍋島や伊万里のほか、バラや四つ葉のクローバーなどの現代柄も考案。主要百貨店や高級呉服店、免税店などへの販路拡大を図る。

(上) 伝統の赤絵付け。畑萬陶苑では技術継承を惜しまず、後進の育成に力を注ぐ。若い世代がもたらす活気が、地域振興に不可欠と考えるからだ。  
(中) 揮発性の高い香水を詰めるため、削って0.1ミリ単位の調整を行う。その後、金属などのパーツと密着させる。  
(下) 香水瓶の下絵付け。バラなど現代柄の人気も高い。

### 「心を込めたものづくり」を通して、 真に豊かな生活文化を提案する。

昭和元(1926)年、畑石萬太郎が創業。窯名は萬洋、畑萬で、ここから伝統の山水絵が始まった。戦後、二代目畑石春幸が畑萬製陶所を設立し、百貨店を中心に認知度が高まる。二代目が病死した後、三代目畑石正博が継ぎ、社名を畑萬陶苑と改めた。また、墨山水という独自性のある商品も開発され、昭和60(1985)年には、有限会社畑萬陶苑として法人化。平成2(1990)年、四代目畑石眞嗣が社長として就任し、低温度焼成法に着手。その応用で卑弥呼人形像などが開発され、ファンを増やしている。



畑石眞嗣さん/代表取締役社長。日本伝統工芸士会伊万里有田焼伝統工芸士。後進の育成に尽力する傍ら、伊万里焼難人形など新製品の開発にも積極的に取り組む。

Company Info.



有限会社 畑萬陶苑

佐賀県伊万里市大川内町乙1820  
TEL.0955-23-2784  
<http://www.hataman.jp>